

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	8月3日	教育委員会	学校教育課	指導担当	-	-	-	2教教02	教委-07

業務名称	指導担当業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	知・徳・体のバランスのとれた自立型の児童・生徒の育成を図る	健全に育っている児童生徒の割合	未実施	100%		
担当業務目的	市立小・中学校、高等学校の児童生徒に対する教育を充実させるため、学校への指導・支援等を行う	適正処理率	100%	100%	8.0	88,139

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
担当業務目的達成のための主な手段(4桁レベル)					
01 学校訪問指導を実施				998	(1)学校訪問計画を作成する (2)学校訪問を実施する (3)学校訪問のまとめをする
学校訪問率	100%	100%			
02 学校指導の指針を示すための委員会の開催				47	(1)学校指導推進委員会を開催する (2)健康教育・性教育推進委員会を開催する (3)教育相談推進委員会を開催する
委員会開催率	100%	100%			

活動概要 (担当業務目的達成のための手段 (2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段 (4桁レベル)				
03 学校での研究実践を高めるための施策実施			56,981	(1)研究課題委嘱校を指定する (2)二学期制への施行に向けた移行実施 (平成17年度完全実施) (3)総合的な学習の時間への支援 (4)副読本の作成 (5)中学校への英語指導助手の活用 対象：中学校、高等学校 目的：英語指導助手を招へいし、中学校、高等学校に派遣し、英語教育におけるコミュニケーション能力の育成を図る。 (6)小学校英語活動の実施 対象：小学校 目的：英語を母国語とする外国人を派遣し、総合的な学習の時間における国際理解教育の充実をはかる。 (7)特別非常勤講師活用事業 対象：小・中学校 目的：経験豊富で優れた知識や技術を有する社会人を授業等に活用し、児童生徒の個性の伸長と、学校教育の充実を図る。
適正処理率	100%	100%		

活動概要 (担当業務目的達成のための手段 (2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段 (4桁レベル)				
04 不登校児童生徒への支援			14,086	(1) 適応指導センター「すくうる・みらい」運営 適応指導教室「すくうる・みらい」の運営 対象：不登校（不登校傾向）児童生徒 目的：不登校児童生徒の学校復帰をめざし、集団適応能力と社会性を培う場を提供する。 メール交換事業 対象：家庭に閉じこもりがちな児童生徒 目的：コンピュータを貸し出し、担任や「すくうる・みらい」指導員とメール交換をし、学校や社会との交流やつながりの一助とする。 専門相談員派遣事業 対象：不登校児童生徒の在籍する学校の教職員及び保護者 目的：学校に出向いて、不登校児童生徒に対する指導について相談を受け、助言を与える。 ルッシュルト 派遣事業 対象：家庭に閉じこもりがちな児童生徒 目的：年令の近い大学生や大学院生を家庭に派遣し、相談や会話を通して元気づける。 サマースクール・みらい、ウインタースクール・みらいの実施 対象：不登校児童生徒 目的：宿泊体験活動を通して、人と係わる力や自主性などを育成する。 保護者相談会の実施 対象：不登校児童の保護者 目的：専門相談員により、子どもへの接し方や生活などについて助言する。 不登校を考える保護者の会 対象：不登校児童生徒の保護者 目的：臨床心理士や医師等の専門家による講話を聞き、家庭での対応の仕方について理解を深める。 不登校対応研修会 対象：小・中学校教職員 目的：不登校対応について研修を行い、学校での指導に役立てる。
適応指導教室「すくうる・みらい」へ通級している児童生徒の復帰率	10%	10%		
適応指導教室「すくうる・みらい」を運営する 不登校児童生徒を持つ保護者に対応する 家にいる不登校児童生徒を支援する 相談活動を行う				

活動概要 (担当業務目的達成のための手段 (2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段 (4桁レベル)				
05 特別な支援を要する児童生徒への支援			6,027	(1)特殊学級合同運動会・特殊学級合同作品展 対象：小・中学校特殊学級在籍児童生徒 目的：運動会、作品展を一同に会して行い、集団行動に必要な能力や態度を養うとともに、豊かな人間性を構築する。 (2)特別支援教育推進事業 教育相談活動 対象：児童生徒・保護者・教職員・市民 目的：就学、いじめ・不登校、教育全般について相談に対応し、助言する。 すくろう・サポート事業 ・学校行事支援 対象：障害のある児童生徒 目的：長時間の学校行事等に参加する場合、サポーターを派遣し、活動を支援する。 ・学級生活支援 対象：学級生活にうまく適応できない児童 目的：学級生活にうまく適応できない児童が在籍する学級にサポーターを派遣し、学級生活を支援する。 ・日本語指導支援 対象：日本語が得意でなく、授業の理解が困難な児童生徒 目的：日本語指導の経験の社会人をサポーターとして派遣し、児童生徒に日本語指導を行う。
適正処理率	100%	100%		
特別な支援を必要とする児童生徒に対する指導を支援する 日本語指導を必要とする児童生徒に対して支援する 特殊学級在籍の児童生徒の他校との交流を推進する 特別な支援を要する児童生徒の学習を支援する				
06 児童生徒の交流活動推進			6,462	(1)はばたけ秋田っ子教育推進事業 中学校文化フェスティバル 対象：中学生 目的：中学生が日ごろ取り組んでいる文化的活動の成果を披露し、感動を分かち合う。 中学生サミット 対象：中学生 目的：市内中学生が1つのテーマのもと、協力して行動し、自ら企画し、実践する力を身につける。 学校群合同体験活動 対象：小・中学生 目的：様々な合同体験を実施し、豊かな人間性を構築する。 児童生徒作品展覧会 対象：小・中学生 目的：学習の成果を展示して、交流を図るとともに、市民に学習の成果を公開する。 小学校地区別陸上記録会 対象：小学生 目的：健康の増進や体力の向上を目指すとともに、陸上競技を通して交流を図る。
適正処理率	100%	100%		
小学生の交流活動を推進する 中学生の交流活動を推進する				

活動概要 (担当業務目的達成のための手段 (2桁レベル))			事業費 (千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)		
担当業務目的達成のための主な手段 (4桁レベル)				
07 学校での事故報告への対応			-	(1)学校で起きた事故報告に対応する (2)問題解決のために関係機関と連携する
問題の処理率	100%	100%		
08 地域の意見を学校運営に反映			1,078	(1)学校教育懇談員活用推進事業 対象：小・中学校 目的：開かれた学校づくりを目指し、学校運営に関する意見・助言を得る。 16年度 東西南北中央の5ブロックに60名の学校教育懇談員を委嘱
適正処理率	100%	100%		
09 学習外活動の支援			2,460	(1)中学校外部指導者派遣事業 対象：中学校 目的：専門的な技能を有する社会人を中学校の部活動を派遣し、活動の充実を図る。 16年度派遣人数 40名
適正処理率	100%	100%		
10 国、県などからの文書配付と調査の実施			-	
適正処理率	100%	100%		